



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 112 号 (2023/12)

<http://www.ffiisaitama.com/>

Sunshine Coast club 10月12日~18日

Mount Barker club 10月18日~22日

Easy-going and relaxed people in an affluent society

オーストラリア渡航 AD 三好 紀子

Sunshine Coast club に New Mexico クラブから 1 名、埼玉クラブ 9 名、Mount Barker club に 7 名が渡航しました。10 日間の両クラブ滞在は、楽しく発見のあるプログラムとホスト以外にも Morning tea, Lunch 会などで出会う会員のおかげで充実した経験になりました。



Sunshine Coast club はアボリジニ女性が経営する shop で直接彼女から話を聞き、健康によいお茶の時間を楽しむプログラムを提供してくれました。歴史上の課題解決に取り組む姿勢を見た思いです。活気ある町に、観光客が押し寄せすぎないように願うという言葉が印象に残ります。ビーチの安全を見守るボランティア団体の説明は使命感にあふれ、1人の女性が始めた亜熱帯雨林を守る活動は長い時をかけて実を結び、時折珍しい鳥の鳴き声だけが静寂を破る自然に身を置くことができました。ホストはオーストラリアの植物に造詣が深く、12 月頃から頻発する森林火災も話題になりました。10 人の Ambassadors が、6泊7日で培った親密で快活な関係を含め、HC は”The Farewell Dinner was a wonderful night and one of the happiest Farewell events with a visiting club.”と言って下さいました。



Adelaid での Welcome Dinner は海に沈む太陽の残光を楽しみ、車で1時間、Mount Barker 到着。500m 級の丘が2つある Mount Barker では、サミットに上ることは必須。360 度の眺望を楽しみ、石の記念碑あたりにアボリジニ3部族が 1 年に 1 回集まり、情報交換をし、結婚の取り決めをしたと聞く。湿地帯をめぐり、鳥の名前をチェックし、広大な植物園をめぐり、春から夏への移行を愛でた。動物園ではコアラを抱きとめ、その軽さと柔らかさに感動！じかに触れあったカンガルーも可愛い。その日の dinner にカンガルーのひき肉！堅実な暮らしを反映する土曜マーケット、4 日間の最後は牛 2,000 頭を飼う Farm での Farewell Party !



“It was such a pleasure to have such happy, cheerful and receptive guests all the time you were here.” HC の言葉が温かい。

2クラブで印象的だったのは、90 才を超えた会員が、自宅を開放し Welcome Party を開いてくれたこと、また lunch に合流した 92 才の方はオーストラリア初の FF Mt. Barker 創立者の一人。ともに話題が豊富で、美しく年を重ねた会員が健在です。

サンシャインコーストへ渡航して

長濱 公子



HQ 動物園のコアラたち

FF 埼玉クラブでの 2 回目の渡航でオーストラリアのサンシャインコーストクラブへ。コロナ明け 4 年ぶりの海外は、空港の出国手続きから簡略化されていて、ドギマギしました。ブリスベンまでは約 9 時間の空旅でした。時差も 1

時間しかないのでジェットラグにもならず体は楽でした。

到着してすぐ、ウェルカムランチは素敵な川沿いのお宅で頂きました。サンシャインコースト、1 日目はオーストラリア特有の動物を見に HQ 動物園へ。オーストラリアと言えばコアラ、カンガルーですが他にも特有の小動物が沢山いて興味深かったです。別の日には熱帯雨林の公園を散策し、これもまた、特有の木々をみたり鳥類のさえずりを聞いたりして学びながら癒されながら散策を楽しみました。絶滅危惧種もいて皆で自然を守ろうと取り組んでいました。



Surf life saving のクルーの方と
ビーチにて

ぎったりもしました。そんな中、6 月に入り、ステイ先も確定した頃、早々にホストファミリーから挨拶のメールが届きました。そこには素敵なカップルの写真も添付されていて、事細かに自己紹介が書かれており、文面から本当に私を歓迎しようという気持ちが伝わってきました。

いよいよ Sunshine Coast に到着。出迎えに来ていたご夫婦と初対面。とても真面目そうなお二人で、かなり緊張。ウェルカムパーティーの会場で、ランチの後にアイスクリームが出され、なんと私だけキャンディに

サンシャインコーストはその名の通り太陽が眩しくビーチが色々な場所にありました。フェリーで渡ったヌーサのビーチはとても美しい眺めでした。クラブでライフガードの講習と実演を見る手配をしてくれ人命救助の講習を受けました。ビーチには車椅子の方が波打ち際まで行けるよう工夫がされていて感心しました。あまり日本では見ない光景でした。様々なレクリエーションを準備してくれたサンシャインコーストクラブの皆さまは、自分達の行程が今後活かせるか？何が良くて何が良くなかったか？質問されていました。活動に対して熱心に取り組んでいるな。と感じました。お陰で楽しめて癒されて学べる渡航だったと思います。旅の締めくくりのフェアウェルパーティーは埼玉サンバをみんなで踊って大盛り上がり！思い出深い渡航になりました。



ウェルカムランチにて

Sunshine Coast への旅

百名 良子

なんと 12 年ぶりの渡航。初めは何気なく申し込んだものの、日が近づくにつれ、帰りが一人になる不安などで、キャンセルもふと心をよ

なっていて、びっくり。事前に牛乳が飲めない旨、伝えてあったので、乳製品を避けるという細かな心遣いだったようです。同様の心遣いは、滞在中ずっと続き、おかげで本当に気持ち良く、元気で過ごすことができました。会話も次第に打ち解け、お二人の出会いなども話してくださるなど、話が弾むようになりました。各所でイホストを務めてくださった方々もそれぞれ気さくで、毎回楽しい時間を過ごせました。

帰国後、しばらく興奮冷めやらず、またすぐにでも行きたいと思ったほど、とても有意義な時間を過ごせた一週間でした。この交流での貴重な体験



フェアウェルパーティーで
マツケンサンバを踊る

は、孫の世代にもしっかりと伝えていきたいと思います。

Sunshine Coast, Mount Barker クラブに渡航して

高堂 綾



FF 愛あふれる 4 人

今年は、コロナ禍の渡航中止から4年ぶりの久しぶりの渡航になりました。

オーストラリアで最も人気のある地域の Sunshine Coast、懐かしい人々とお会いできる

Mount Barker クラブの2クラブへの渡航です。

Sunshine Coast は、FF でも指折りの接待上手なクラブと言われているように、素晴らしい景色に、クラブの皆さんの余裕のある待遇には、私たちも見習いたいと思います。もちろん経済的余裕を見習うには少々難しいところもありますが、兎に角心に余裕があります。そして FF への愛があります。皆様年齢を重ねながら FF への愛を育てていったようです。

プログラムに追われて過ごすことより、ゆっくりと過ご

してゆくの、これからの FF のあり方かもしれません。多くの受け入れの経験からいつも決まったプログラムになるようですが、新人起用に力を入れてだれもが交流できるように配慮する心配りがありました。デイホスト、ディナーホストは、新人家庭が引き受けたようですが、皆様嫌がらず楽しく迎え入れる余裕が素晴らしい！！ 老後の過ごし方等日本とは、なぜ違うのか？

Sunshine Coast の気候の良さも人々の気持ちを解放しているのですが、日本人は、表現下手ですが、決して捨てたものでない温かい人間性があります。皆さん愛ですね。温かい気持ちを忘れずに大いに渡航、受け入れをして老後の生活を明るく生きていきましょう。それには健康が一番、元気で健康で過ごしましょう

ジャカランタ咲く
ディナーホスト宅

オーストラリア渡航で

外山 哲代

マウントバーカーの
ホストの農場にて

今回の渡航は、2013年3月のメルボルン、マレーブリッジの渡航について2度目のオーストラリア渡航になった。

サンシャインコースト地域は、沢山のビーチが近くにあり、少し車を走らせると内陸部には亜熱

帯雨林が広がり、壮大な景観の Glass House Mountains を眺めることができる。自然がすぐ近くにある生活の楽しさ、素晴らしさを人々が本当に大切に守っていることも実感した。

ホストやディナーホストの家では、テラスやバルコニーを利用してお食事の前に寛いでおしゃべりを楽しみ、そこからは気持ちの良い緑を眺めるお庭や、運河、Glass House Mountains などが見え、風も心地よい。

日本では気候や住宅事情の点でなかなか同じようにはいかないが、このようにゆったりとした



時間を作る事に気を配りたいと思った。

マウントバーカークラブ滞在中には、2018年にカスタートクラブの渡航に参加して来られ、我が家にお泊り頂いた Gilbertson ご夫妻が Adelaide まで会いに来て下さり、またマレーブリッジの Mueller ご夫妻も車で40分余りのご自宅から私のホストの Thorpe さんの家まで会いに来て下さった。それは、この2組のご夫妻がホストの

Thorpe ご夫妻をご存知であることから再会を果たすことが出来、とても感激をした出来事になった。



10年ぶりの再会

オーストラリア渡航で感じたこと

外山 竹治

海辺の Sunshine Coast、牧草地が広がる Mount Barker、大都会シドニーという特徴あるエリアに滞在でき、オーストラリアについて多くの体験をすることができた。2週間の滞在で即断することはできないが、オーストラリアの人々の生活は、経済的な面でも、生活環境の面でも、ゆとりがあるように感じた。

シドニー在住の方の話では、レストランスタッフの時給は、2千円が相場らしい。物価の違いもあり、簡単には判断はできないが、暮らしやすそうである。生活環境という面では、国土が広く、人口が少ないため、住まいにゆとりがある。さらに、豊かな自然が暮らしの周りに広がっている。

Mount Barker では、ディナーホストの家に招かれた夜、ホスト宅への帰り道、道路を横切るコアラを見つ

けた。ホストが機転を利かせて、その場所に戻ったところユーカリの木に登るコアラに出くわした。

また、我家に滞在

された Gilbertson 夫妻が、お住まいから約 400Km 離れた Adelaide まで、車でお越しくださった。二人のお姿を見た瞬間、目頭が少し熱くなった。お許しを得て、Mount Barker Club のウェルカムパーティーにも気持ち良く同席させていただいた。出会いを大切にす Friendship Force の精神を改めて痛感した渡航でもあった。



Mount Barker に渡航して

牧野内 豊子



今回は Sunshine Coast と Mount Barker にステイしたのですが、Mount Barker は Adelaide から車で 1 時間程のところでした。最初に Adelaide の海岸を案内して貰いましたが、Sunset がとても美しく感動でした。

Adelaide と Mount Barker クラブは合同で 2012 年に埼玉クラブに滞在したクラブでした。ステイした家は牧場を営んでいて周りは牧草地ばかりで、人家もまばらで、方向が良く分からなかったのですが、かなり山側に来たと思いました。毎日出かけるのに、結構長く車に乗って集合場所に行った覚えがあります。家の庭には花が沢山咲いていてとても綺麗でした。郡山さんと一緒に出来るととても心強かったです。ホストの方は余り飾り気のない方でありのままを見せてくださいました。Mount Barker で 1 番感じた事はとにかく広いな

あとと思った事でした。

ホストは、毎日お忙しい中同行して下さり感謝です。コアラを抱いたり孔雀が長い尾羽を優雅に目の前を歩いていたり色々な所に連れて行ってくれました。Mount Barker では目的地まで車で行き、後歩くという日々で万歩計もかなりの歩数でした。Mount Barker に移動してから段々と気温が下がり、夜はとても寒くなり、ダウンを着ている方もいてストーブをたく程でした。1 週目も 2 週目も埼玉クラブが受け入れた時のメンバーが写真を持参して下さり、その中に自分が写っているのには、びっくりでした。1 週目のメンバーさんは 1999 年の埼玉のホストの名前(佐野敦子さん)を言っていたので、帰ってから調べて連絡を取りましたら、大変喜ばれました。FF の長い繋がりを感じました。



オーストラリア渡航に参加して

丸山 由喜雄



今回の渡航は、2か所のクラブ(Sunshine CoastとMount Baker)と1泊のSydneyを訪問しました。OSunshine Coast

Wildlife HQ Zoo, Rainforest walk, Noosa Ferry Cruise, Surf Life Saving などを楽しみました。Wildlife HQ Zooでは、Cotton Top Tamarin, Ring Tailed Lemur, Wombat, Southern Cassowary, Meerkat, Tasmanian devil などを見られたことが良かった。Rainforestの木々は、日本と異なりとても印象的だった。ホストの友達で、自家製ビールを作っているTimさんのビールは、美味しかった。

OMount Barker

Mount Barker summit, Geroge Wildlife Park, cuddle a Koala, Mount Lofty Botanic Garden, Hahndorf, Mount Baker Farmers

Market などを楽しみました。

Cuddle a Koala は、初めての体験でワクワクしました。Welcome dinnerの後のSt Vincent Gulfに沈む夕日は、素晴らしくきれいだった。

両クラブのホストには、非常に親切にいただき楽しい渡航でした。両ホストの住居の近くで、野生のカンガルーやコアラを見られたことは、一番印象的だった。反省点として、色々なイベントの説明において、私の英語力不足のためにわからないことが多々ありました。

ホストからも英語の勉強について、It is essential to practice, practice and more practice.のアドバイスがありましたので、I'll do my best.

最後に、楽しかった渡航に対し、

Sunshine Coast, Mount Bakar, 埼玉クラブの皆様感謝申し上げます。



Mt. Barker Clubと再び

郡山 郁子



Welcome Party 参加者 100 名余り、FF 埼玉会員数 76 名。11 年前 Mt. Barker Club 訪日の Frank Bowen 氏の感想文

の一節。Mt. Barker Club の Exchange Scrap Book No 6 (A3 サイズ)に思い出の写真と共に納められ、胸がキュッとした。また埼玉メンバーとの愉しかった朝のラジオ体操の忘れがたい思い出を綴った日記と沢山の写真を熱く語った女性に感激。今春 HC の David と Laurel が訪日し、ランチ、打ち合せ、お泊まりして頂き、渡航前の顔合わせは貴重だった。牧野内さんと私のホスト夫妻はクラブ若手会員。牧場主で玄関回りのまるで絵画の薔薇園は Julie の作品。Phil は Club内でも精力的に活躍。Party用の大盛りサラダ作

り、会場ではバーベキューを担当。お忙しいお二人にも拘わらず私達と一緒に楽しんで下さり感謝だ。夕食にちらしと海苔巻のお寿司とお吸物を作ってご馳走した時点で、喜ばれなかったなあと思いきや、翌日メンバーに自慢げに写真を見せ説明していた！あらっ嬉しかったのね。

ここは突然カンガルーが現れたりしてどこも自然が一杯。樹木に覆われた路。みんなゆったりしている。何と言う贅沢感。レストランは何処も美味しい。もう一度食べに行きたい。

Hahndorf Historic Town を訪れた。19 世紀



仔牛のミルクタイム

前半、非イギリス系移民ドイツ人ルター派はアデレード入港。そして今も尚芸術、化学、経済、政治と優れた業績を挙げている。深いなあ！

世界大会報告

西村 介延

今回の世界大会は、アドリア海の真珠と呼ばれる Croatia の Duvronik にて、10月2日から5日までの



写真1

4日間にわたって開催され、約300名のメンバーが各国から参加した(写真1)。

大会は、Jeremi 会長(写真2)のキースピーチから始まり、その中では、彼の幼い時の思い出やフレンドシップ・フォースの現状について語っています。財務状況、FFI のスタッフ、メンバーシップ、テクノロジー、FFI 理事会そして最後に彼の考える平和について思いを語っています。特にその中で印象的だったのは、ガンジーの言葉を引用して、‘You must be the change you want to see in the world’ (写真3)の文言です。これは FFI のスローガンにもあった‘Changing the Way You See the World’にも通じると思います。



写真2

大会の後半には、It ‘s A Match! (マッチングの仕組み) / Leadership(クラブ運営) / Special Journey (Journey への新しい取り組み) / Social Media (SNS 等への対応) / Diversity Infusion (多様性の浸透) などのテーマのもと、各セッションが並行して開催され、各セッションでは10人程度のグループに分かれ話し合いがもたれた。私は、Leadership や Social Media のセッションに出席したが、各クラブ



写真3

で意外な方法で運営されているのを知り、大いに興味深かった。

また世界大会のもう一つの楽しみでがあり、今回もふるい友人と再会することができた。

記憶している人もいますが、Long Island の Ivan, Shiela, Jacque, Solothurn の Kurt, Christine, Varel の Gaby, Manfred, Leuven の Greta, Danny など懐かしい面々と会うことができた(写真4)。お互いに歳を取り、健康の話題にもなり、まるで同窓会の雰囲気になった。



写真4

私たち夫婦は運よく、大会後のホームステイにも参加できた。Hungary の Pecs(ペーチ)クラブに、4日間のホームステイをした。これには複数の国から参加しており(写真5)、国

や使用する言語も、アメリカ(米用語、Scotland 系英語)の3名、台湾(中国語)、日本(日本語)そしてハンガリー(ハンガリー語)と多彩であり、Google Translate が大活躍した。会話が時間がかかり大変でもあったが楽しいホームステイだった。まさにフレンドシップ・フォースらしい経験をさせてもらった。またこの後、我が家にホームステイした Hungary Budapest の Gaby さん宅にもステイすることができ、今回の旅は世界大会を含め17日間になったが、思い出多い旅となった。

なお、FFI のホームページにも世界大会の報告がされているので、ぜひそちらも読んでもらおうと、参考になると思います。

(Nick-Name ‘Yoshi’)



写真5

会員おしゃべりコーナー

三十年ぶりぐらいに小さな劇団を観に行きました

神谷 千春

中学の同級生、確か中学から演劇部にいたと記憶しています。幸い何年か毎に同窓会があり、数回顔を合わせる程度の付き合いです。濃厚に過ごした中学時代はとても楽しいことも辛いこともありましたが、気心知れた仲というか、何気に落ち着く方たちでもあります。

コロナが落ち着いたので、数年ぶりに会おうと、6月頃十数名で会うことができました。その中にいた一人が、最近山に登っていると！！

みんな色々で趣味があるんだなあ～と、やや聞き流していましたが、隣の彼女が演劇をやっていると、『形になったら、是非観に来てほしい。』

その時は、まあ先の話だと思っていましたが、夏の終わりに、11月に出演するので興味がある方は～と軽にお誘い。特に予定も入らず、なんか観に行きたい衝動に

かられて行くことになりました。同級生数名が時間が合い、観に行くことに。

三鷹で、【劇団 SHOWA】という劇団の第三回公演でした。考えさせられる内容でもありましたが、同世代がとても幸福そうに力いっぱい演じているのをワクワクして観ていました。

あっという間の1時間。同級生はかなり重要な役で、ずっと元気に動き回っていました。2部は、懐かしの昭和歌謡を振り付きで、出演者の息がぴったり合った素敵なショーでした。

同じ年の、幼い頃一緒に遊んだり勉強したりした仲間があんなに生き生きとしている姿に、私もなにかしなくては!!と思いました。

さて、何を始めるか…悩んで何年か過ぎそう

クリスマス in ニューヨーク

村松 江伊子



いささか昔の話になりますが、私達家族は主人の転勤でニューヨーク市郊外に約2年住んでいました。近くには公園があり、リスやカルガモ達を見に子供達とよく散歩に出かけたものです。

渡米し始めの頃は、学校の送迎やら駐在員の奥様方とお付き合い等に忙しく明け暮れていましたが、半年も過ぎる頃にはこうした日常にも慣れ、徐々に行動範囲を広げていきました。例えばアメリカと日本の料理を交互に紹介しあうクッキングエクステンジに参加したり、クラフト教室で自ら公園で拾い集めた松ぼっくりを使って作るリース作りに参加したり、ニューヨークフィルのオープンリハーサルを見学したり、全米から集まった参加者と一緒にメサイヤを歌ったり、と様々に活動しました。

さて、こうして慣れ親しんだNY生活もいよいよ最後の冬を迎える事となり、私達はホリデーシーズンのマン

ハッタンへと繰り出しました。まずは、リンカーンセンターで恒例のバレエくるみ割り人形を鑑賞、次に五番街ロックフェラーセンターの巨大クリスマスツリーやデパートの趣向を凝らしたショーウィンドウの飾りつけ等、次々に見て回りました。中でも圧巻はメトロポリタン美術館のクリスマスツリー、中世の展示の部屋に一步入ると、グレゴリア聖歌やアベバルムコルプス等が厳かに流れ、高さ6mのクリスマスツリーがド～んと目に飛び込んで来ます。ツリーの回りには18世紀ナポリの伝統工芸の人形が200体ほど配され、イエスキリスト生誕の物語を再現しています。一つ一つが本当に美しく精巧に作られていて、いつまでも見ていて飽きませんでした。

まさにこのツリーこそが、私の大好きな「クリスマス in ニューヨーク」なのです。



渡航報告会 —これぞFF!!—



11月23日(木・祝):シーノ大宮の会議室で渡航報告会が行われた。参加者は25名。今回は従来の埼玉クラブのClub to Clubの渡航に参加した9名の他に、オーストラリア英語研修(濱田さん)、長崎クラブに参加して渡航された二人(川田さん田中さん)の報告も合わせて行った。写真を見ながらホストとの交流、心に残った風景などを熱く語っていただいた。

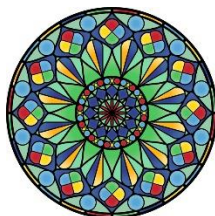


—久しぶりの交流— FF 埼玉の集い

12月3日(日):カルタスホール(北浦和)に、会員が28名、会員紹介のゲストが5名の33名が集った。午前中は万華鏡作りに16名が参加。ランチ後のパーティーでは西村介延さんのクロアチア世界大会報告やグループ懇談、久しぶりのバザーを楽しんだ。



万華鏡作り



クロアチア世界大会報告



新入会員紹介

原田 桂子:

以前から浜さんから東村山の英語サークルで、FF 埼玉クラブの活動は聞きおよんでおりました。子供の頃から海外には大変興味を持っておりました。アメリカ企業に20年近く勤務し、それなりに英語ができるようにはなりましたが、ここ20年ほどはすっかり英語とは遠ざかっており、ボロボロ忘れていくのが情けないのが現状です。好きなことは月並みではありますが、読書と映画鑑賞です。ここ数年は筋トレにもはまっています。



今後の予定 2024年

1月8日(月・祝)	13:00~	第1回 Sibiu club Romania 受入れ準備委員会 シーノ大宮 9F 学習室1
1月21日(日)	10:00~12:00	第13回(2024年度第1回)理事会 シーノ大宮7F 講座室3
1月28日(日)	10:00~12:00	FF 埼玉クラブ総会 With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)
	午後	懇親会 【朗読劇「スサノオ」】稲垣洋子さんグループ:「生け花で世界交流」新井ミキエさん
2月18日(日)	10:00~12:00	第2回理事会:シーノ大宮・5F 講座室2
	13:00~	第2回 Sibiu club 受入れ準備委員会 シーノ大宮・9F 学習室1
	15:00~	ミネソタ・デモイン渡航準備委員会 シーノ大宮・9F 学習室1
3月		第3回理事会 World Friendship Day
5月1日~5月6日		Sibiu club Romania 受入れ

発行:ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉

広報部:浜 堀切 原田 石橋 稲垣(朋) 田中 浜島 川田 HP担当:堀切

Mail:friendship.f.saitama@gmail.com

発行日:12月31日